

はえはる議会だより

6月 9月 12月 3月

令和8年6月定例会

No.234

令和8年8月10日発行

次回定例会の開会予定
9月28日(月)
午前10:00

町民の声を これからの町政へ

未来へ繋がるスポーツの力

開かれた議会を目指して	P4
知ってる？選挙のルール	P5
15人全員が一般質問	P8
題字：中学3年 林 同佑さん	

沖縄県
南風原町議会HP



はえはる議会だより

No. 234

沖縄県南風原町議会ホームページ
https://www.town.haebaru.lg.jp/life/5/24

発行 沖縄県南風原町議会
編集 議会広報常任委員会

〒901-1195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地
TEL (098) 889-3097 FAX (098) 889-4499
印刷/株式会社 近代美術

町民の声



社会教育士として大切にしていることがあります。「学び」はつながりから生まれ、「学び」は新たなつながりを育て、その積み重ねが地域をつくるということです。

社会教育という難しく聞こえるかもしれませんが、しかし「学び」は本来、「知りたい」「学びたい」「教えたい」「伝えたい」という、一人ひとりの思いから始まります。公民館活動や地域の講座、サークル、eスポーツなどの体験もその一つです。



自然はみんなの先生

学びと居場所が 地域を育てる

南風原町社会教育委員
任意団体こも代表

仲原 英孝(社会教育士)

共通する関心をきっかけに人と人が出会い、関係性が生まれ、「また来たい」「ここに居たい」と思える「居場所」へと育っていきます。

「居場所」とは「自分らしくいられ、そこに居たいと思える場所」だと考えています。価値観や生き方が多様化する今、多様な「居場所」が地域にあることは、一人ひとりの幸福感を高め、地域全体の豊かさにもつながります。そして、その企画や運営に関わり、「自分も地域の



多世代でつながる

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・ご要望なども広く募集しています。議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先：議会事務局 TEL.889-3097 FAX.889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

左のQRコードを読み取ることで議会中継サイトに繋がります。

はえはる議会だよりのバックナンバー

議員との意見交換会受付中

編集室より

今回の議会だよりは私たち20期議員が編集する最後の発行になる。4年間を振り返ると、どの編集においても絶えず「新たな視点、町民の皆さまの読者視点」を大事に議論を重ねてきた。

私自身は今まで4期15年、広報委員を務めさせてもらったが、議会改革の大部分をこの広報委員会から芽が出て、時には進んで戻るを繰り返しながら実現してきた。ぜひ次期委員にも、新たな発想、大胆な改革を期待したい。様々な情報や媒体が溢れる現在、私たち議会も、そして議員自身も変化が求められていると感じる。「より便利に、より分かりやすく」は基本だが、「議会の臨場感や、議員の熱量が伝わる」そんな広報のあり方があってもいいのではないかと。

(担当/照屋 仁士)



意見交換会

議会報告会終了後は、2つの会議室に分かれて、それぞれのテーマに沿った意見交換会を行い、様々な意見が交わされました。町民からの声をご紹介します。

総務民生委員会 こども家庭センター



- ・こども家庭センターの年齢の対象は。青少年は対象か。ひきこもりや学校を中退した方などの受け皿にもなるか。
- ・ウガンヌ前公園に若者が集まる。問題のある子も多い。そんな子たちの受け皿が南風原町では薄いと感じる。
- ・窓口が一つになると便利なのはわかるが、土日や時間外への対応、また支援の先がなければ相談ベースで終わってしまう。民間企業や地域と連携しながらこども家庭センターをどう作っていくか。
- ・こども家庭センターとはどんな組織か。わかりやすい周知をしてほしい。

経済教育委員会 mobi (モビ)



- ・mobiは知っていたが、具体的な生活シーンでの使い方を周知してはどうか。
- ・町民の認知率はどれぐらいで、どこからの補助金を活用しているのか。
- ・朝の通学等に使えるように検討できないか。
- ・首里駅とのリンクはできないか。
- ・福祉や住民サービスの観点からもmobiは必要なので継続してほしい。継続できなくても、引き続き議論を重ね、議員から様々な提案をしてほしい。



皆様からアンケートを頂きました

やわらかい
空気感で
良かった。

町民にとっても町が
住みやすくなるために、
問題意識を持って意見を
言える場がある事にこの
報告会の意義があると
思いました。

今年も楽しみにしてました。
議場に入れるのがとてもワクワクします。夕方に開催してくださって、議員の皆さんの配慮に感謝します。



皆さまのご意見を 議会から町長へ

【要望事項及び回答(要約)】

- 津嘉山公園に木陰を作るなど考慮してほしい。
→遊具設置時に日よけ対策を検討する。
- 妊婦歯科検診の周知を工夫してほしい。
→対象者全員に届くよう周知を行う。
- こども家庭センターの運用について、時間外の対応や民間との連携など取り組んでほしい。また若者や不登校など多様なニーズに対応してほしい。
→母子保健と児童福祉を一体化し、民間との連携は可能かも含めて検討する。
- mobiについては様々なニーズが確認できた。今後も丁寧に検討してほしい。
→利用環境改善や充実の検討を丁寧に進める。事業継続は総合的に判断する。



要望書受け渡し



回答全文はこちら

第15回議会報告会・意見交換会

町民の声をこれからの町政へ

開催日：令和8年6月5日(金) 参加者：約40名
会場：南風原町役場 議場
テーマ：令和8年度の主な事業、こども家庭センター、mobi



報告会の様子は
こちらから



問 津嘉山公園の遊具選
定はこれから行うとのことだが、住民の立場で提案とか意見をする場合はどのようにお伝えすればいいか。遊具が熱くてやけどしてしまうことがあるため、太陽が出ていない時や夕方しか遊べない状況がある。木陰が無いと厳しい。整備するときに木陰を作るなどを考慮してほしい。
回答 まさに議会報告会の意義があるご意見です。これからどのように選定されるかは確認していませんが、頂いたご意見は執行部へ伝えます。



参加者からの質疑



問 妊婦歯科健診はすごくいい取り組みだと思う。必要性が見いだされた経緯は。実施にあたってどのように周知されていくのか。

回答 母親の歯の健康を守ること、胎児にも影響があるだろうということが今回の妊婦歯科検診がスタートした背景です。まずは新たなサービスが始まるということで議会で承認されました。

議会報告会は去年からの試みとして、より議会を身近に感じてもらうため、議場で開催しています。質疑応答や意見交換会においても多くの意見が交わされました。当日の質疑や意見等をご紹介します。

南風原小・翔南小の議場見学



議員席から議長に質問

南風原小学校・翔南小学校の6年生が議場を訪れ、合計約230名の児童が議員の案内のもと議場や会議室、傍聴席の見学を行いました。議場では、それぞれが議員席や市長の席などに実際に座ってもらい、議長や議員に質問をしてもらったり、楽しみながら議会の役割などについて学びました。

知ってる？ 選挙のルール

選挙運動期間は立候補の届出から

今回は9/8(火)から9/12(土)まで。



立候補できるのは何歳から

町議会議員には25歳から立候補することができます。



公職の寄付行為禁止

立候補者や議員は選挙区内寄付行為が禁止されます。



戸別訪問は禁止

全面的に戸別訪問は禁止されています。



ネットでの選挙運動

選挙運動期間外に選挙運動をしてはいけません

インターネット選挙運動も9/8(火)から9/12(土)までです。



悪質な誹謗中傷をしてはいけません

候補者に対して、選挙の公正を害することのないよう、インターネットの適正な利用に努めてください。



9/13
投開票

9月13日、南風原町議会議員選挙が行われます。選挙は町の代表者を選ぶ大切な制度です。公平・公正な選挙が行われるよう、公職選挙法は選挙運動についてルールを定めています。

議会活性化調査特別委員会

開かれた議会を目指して

令和5年度に議会活性化調査特別委員会を設置し、日々変化する地方自治の環境へしっかりと対応できるよう、特別委員会を中心に議会改革を行いました。その結果をいくつかご紹介します。



詳しくはこちらから

今期 (R4～R8)の実績

①議会基本条例の検証



議会基本条例の全条文の検証調査を行いました。その結果議会における「災害時の対応」を明確化するため、条例に追記しました。

②ペーパーレス化の推進



タブレット端末や、活用するアプリの検討を行い、令和7年3月定例会より、紙での議案等の配布を廃止しました。

③こども達へ議会を身近に



主権者教育の一環として、町内小学校の議場見学を受け入れ、議会の役割や仕組みについて学んでもらいました。

④町民との意見交換の充実



議会報告会や意見交換会において、初の議場での開催を行ったり、各種団体との意見交換会を行いました。

⑤議会だよりをリニューアル



読みやすさを重視した紙面作りに取り組み、町民インタビューや各号のターゲットの設定などに取り組みました。

⑥議員研修の充実に向けて



先進事例調査や議員アンケートを行い、今後の研修で重視するポイントや運用のあり方を検討しました。次期からの研修が充実します。



・全国町村議会議長会 表彰
・全国町村議会議長会 広報コンクール 表紙デザイン賞 金賞
・沖縄県町村議会議長会 議会広報コンクール 奨励賞

補正予算で行う事業

ふるさと博覧会
実行委員会補助金

210万円の増額（総額1210万円）

ふるさと博覧会実行委員会補助金について、設備工事や警備費等で、資材費、人件費の高騰による増額です。

議員から「町民が楽しめる魅力あるイベントとなるよう実行委員会の意見を反映した運営に取り組んでほしい」と要望がありました。



資源ごみ収集・分別業者
変更に伴う消耗品費

事業費 77万円

10月より資源ゴミの収集・分別業者へのゴミ出しの方法が変更されることに伴い、運搬用かごの購入のための予算です。

議員から「変更内容については、町民への丁寧な周知とサービスの維持・向上に努めてほしい」と要望がありました。



10年余り新川区体協長を務め、今年は既に7種目の競技が終り、あとは陸上が残るだけで、これまでの最高順位は町内4位。殆どの競技で、出場者たちはプレーを楽しみ、相手も同様に楽しんでくれているのは嬉しい事です。全収入金である自治会からの補助金の半分近くが町体協への分担金と保険料で消えるので、やりくりに苦労しています。



新川区体協長
伊佐真吾（42歳）

陳情・意見書の結果



意見書を読み上げる、當眞嗣春議員 大城重太議員

陳情・意見書の結果は以下の通りです。
議員から意見書が3件提案されました。
意見書は全会一致で可決されました。



意見書
全文はこちらから

陳情第4号	県産品の優先使用について（陳情）	採択
陳情第5号	「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための意見書採択を求める陳情	採択
意見書第2号	「義務教育費国庫負担拡充」及び教育条件整備のための意見書 提出先：内閣総理大臣 他	可決
陳情第6号	「30人以下学級早期完全実現」のための意見書採択を求める陳情	採択
意見書第3・4号	「30人以下学級の早期・完全実現」のための意見書 提出先：内閣総理大臣、沖縄県知事 他	可決

第2回
定例会

6月9日から19日までの11日間の会期日程で開催されました。
提出された議案は審議の結果、全て原案のとおり可決されました。
今回の議会で可決された予算や条例、意見書等をご紹介します。

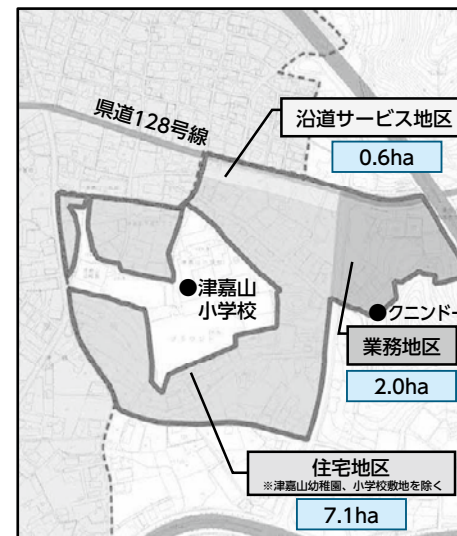
条例の制定で何が変わるの？

津嘉山小周辺 建築物の制限

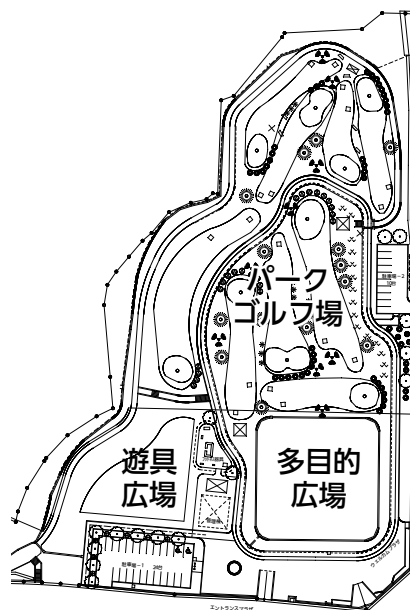
◇南風原町津嘉山南地区地区計画区域内における
建築物の制限に関する条例

津嘉山南地区内において、適正な都市機能、健全な都市環境の確保を目的として制定するものです。

住宅地区・沿道サービス地区・業務地区に分け、土地の用途の混在を防ぎながら、良好な住環境の形成を図ります。



津嘉山公園の管理事項を定めました



津嘉山公園図面

◇津嘉山公園の管理に関する条例

指定管理者制度を活用でき、公園の利用許可、利用料金、指定管理者の指定手続その他管理に関し必要な事項を定めるためのものです、以下の説明がありました。

- ・公園の特徴はパークゴルフ場があること。
- ・多目的広場は管理棟隣接の芝生広場を指す。
占用利用は公園の全部・一部を独占利用する場合が対象。
フードトラック出店等も許可が必要。
- ・一般利用への影響を考慮し、必要最小限の範囲で許可する。
- ・指定管理者はプロポーザル方式（※）で選定する。
- ・協定書を締結し、業務報告や実地調査等で町は監督を行う。

※プロポーザル方式とは価格だけでなく、提案内容や業務遂行能力を総合的に判断して事業者を選定すること。



宮兼ビギンズは、南風原小学校区内で活動し15年目を迎える学童野球チームです。どんな子ども達でも野球が出来る環境を目指してチーム作りをしています。「基本的な挨拶や協調性、整理整頓」を養い、野球では「勝つ喜び、負ける悔しさ、チームメイト全員で頑張る事」をモットーに指導しております。

今年7月の南風原町大会では優勝を成し遂げることができました。微力ですが、野球を通し子ども達の健全育成に貢献していきたいです。



宮平義胤 監督



赤嶺 奈津江 議員

アプリ等で手続き できるよう推進を

答 住民サービスの向上に取り組む



マイナンバーカード受付窓口

問 DX窓口(書かない窓口)、システムやアプリ等で手続きできるよう推進をしてほしいがどうか。また窓口業務を整理し、総合窓口設置と全庁的な窓口業務委託をしてはどうか。

副町長 窓口のDX化については、町DX推進計画の実施計画に位置づけ推進している。今後もDXによる住民サービスの向上に取り組んでいく。総合窓口や全庁的な窓口業務の設置は、委託対象業務や費用対効果なども含め、先行自治体の事例を参考に調査研究していく。

問 都市計画と墓地申請を問う。土地の利用などの観点から考えると経済建設部局で対応すべきと考えるがどうか。

副町長 墓地、埋葬等に関する法律は、墓地等の管理及び埋葬等が公衆衛生の見地から行われることを目的としていることから、住民環境課が所掌する公衆衛生業務として対応している。

都市計画と墓地申請を問う

問 マイナンバー業務を委託にしたが現状はどう変化したか。

副町長 民間事業者のノウハウ活用と人員体制の強化により、窓口の待ち時間や予約混雑が大幅に緩和され、円滑に運営している。また、事前準備や通知発送などの事務処理も迅速化され、安定した人員確保も図られている。

問 都市計画の中に含めたところを、しっかりと把握できるように、経済建設部、まちづくり振興課でやってほしいがどうか。

総務部長 町の規定に基づき、立地条件とか周辺の環境を確認して、必要に応じて関係課と協議を行いながら判断している。住民環境課とまちづくり振興課で互いに確認しながら、受理を進めている状況である。当面の間は状況を見ながら、また社会情勢の変化等がある場合は、その辺も含めて検討が必要であれば、また対応していく。

4年間を振り返って
仲間とともに議会改革に挑み、成長できた4年間に心から感謝しています。

《次のページから》

一般質問

行政に考えを聞く 政策提言

【一般質問とは】

議員が、町行政の執行状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行部に直接質問することです。

QRコードから各議員の議会中継が視聴できます。一般質問記事は質問議員が会議録から抜粋し、広報委員会によって編集されています。

【4年間を振り返って】

今号が現在の議員の今期最後の議会だよりです。任期4年間を振り返ってのコメントを最後に掲載しています。

政治活動の課題 どう考えるか

・選挙公約、全て白紙委任ではない

P10



照屋 仁士

不登校児童生徒への 支援と学びの保障を

・猛暑から子どもを守る
・公民館サークルの魅力発信へ
・がん患者に寄り添う支援へ

P12



西銘 多紀子

陸軍病院壕公開 20周年イベントを

・南星中学校の施設改修を問う

P14



大城 重太

話せる英語教育に重点を

・オンデマンド交通モビの実績と課題は何か

P16



金城 憲治

金城町長は町民の声を どう反映するか

・資源ごみ集団回収の報償金を
上げよ

P18



岡崎 晋

平和行政と 平和学習を問う

・基地問題を問う

P20



當眞 嗣春

カスハラ対策 事業所への支援を

・社会教育行政の取り組みの進捗は
・就学援助を必要な家庭に届けよ

P22



玉城 陽平

	アプリ等で手続き できるよう推進を ・都市計画と墓地申請を問う P9
	町道8号線と 通学路の安全対策を ・行政無料相談会を問う ・雑誌スポンサー制度の進捗を問う P11
	右折帯早めの 工事着手を ・道路通行帯の設置を ・英語教育の充実を P13
	本町の物価高騰 対策支援は ・本町の子ども対策は P15
	夏休みの 子ども食堂へ支援を ・成年後見制度の周知徹底で 町民を守れ P17
	中東情勢の 影響を受ける事業者へ 支援を P19
	町民体育館建設に ついて問う ・第6次総合計画策定への課題は ・学校給食に地産地消を P21
	津嘉山「ウガンジュ」 修繕と整備を ・緊急避妊薬について P23

政治活動の課題 どう考えるか

答 前町長と同じ立場で考えたい



問 私は、前赤嶺町政の実績を高く評価をしている。また私も様々な提案を通して、その一助を果たしてきたと自負する。与野党にこだわらず、議会からの提案、指摘は、丁寧に対応してほしいがどうか。

町長 それぞれの立場や意見を尊重し、町民の福祉向上を最優先して対応する。

問 前赤嶺町長は選挙において、国政与党の政党候補者を応援され、その理由として、南風原町の町益のため、支援を受けるためとされていた。政治活動における課題について、国政与党を応援しなければ、必要な支援は受けられない。

い、南風原町にとって不利益が生ずる。との考えを前赤嶺町長は否定された。町長、この点どう考えるか。

町長 前町長と同じ立場で考えたい。

選挙公約、全て白紙委任ではない

問 町長選挙で当選をされた。当然選挙公約が支持をされたと考える。しかし今回の投票率は42・74%、相手候補も一定の票数を獲得。全てが白紙委任をされたわけではない。

今、8つの公約、柱を答弁された。ある意味、理念的、



照屋 仁士 議員

目標値的な印象である。町民からすれば、まず何に取り組むのか。金城町長の重点とされる施策を答えよ。

町長 全ての公約は重要。しかし各部署の実情に応じて、予算面も総合的に踏まえて判断したい。



自ら答弁する金城町長

問 向こう4年間向かう姿勢を伺っている。再度聞く、任期4年間の途中で必ず達成させたい施策はあるか。

町長 公約を8つ挙げています。できれば全てを実現させたい。

問 国政や県政、様々な政党、団体との関わり方について、私は、首長はある程度政治的な自制が必要だと考える。一部の政党や団体のみに偏することなく、絶えず町民の声を優先し、町政に当たってほしいがどうか。

町長 公平な町政運営に努めたい。

4年間を振り返って
4年が本当に早い。議会改革大きく進んだ。次期もより「町民に身近な議会」を望む。

町道8号線と 通学路の安全対策を

答 道路安全対策計画に基づき実施している



問 現況の町道8号線の安全対策について問う。

副町長 南風原町生活道路安全対策計画に基づき、交通安全対策を実施している。

問 一般車両が、生活道路から町道8号線に出る際に危険な場所がある。カーブミラー等の安全対策を講じてほしいがどうか。

副町長 当該箇所は、本町で定める道路反射鏡設置基準を満たしていないため、カーブミラーの設置はないが、その他の有効な安全対策について検討する。

問 津嘉山地域振興資料館の周辺住民より、同資料館の駐車場に車両を駐車し、保護者同伴の下、歩いて学校まで登校する。そのため、小学校敷地内を有効活用しながら、対策をお願いしたいがどうか。

教育長 小学校敷地内の活用については、児童の安全確保や車両動線の確保など、慎重な



朝の津嘉山地域振興資料館前

検討が必要であると考え。しかしながら、保護者の利便性と地域住民の生活環境の両立は重要であり、学校と連携しながら、現在の取り組みの検証を行うとともに、様々な方策について検討していく。

行政無料相談会を問う

問 弁護士、司法書士、行政書士について、どのような手続で、相談を行えるか。

副町長 町主催の無料相談は行っていない。町社会福祉協議会で、弁護士及び司法書士への無料相談を電話や窓口申請等により受け付け、実施している。

雑誌スポンサー制度の進捗を問う

問 制度導入に向けて前向きに検討したいとあったが、その後の進捗について問う。

教育長 実施要綱案が教育委員会において承認され、現在は周知方法や実施体制などの準備を進めている段階である。

4年間を振り返って

地域の課題解決に向けたこれまでの取り組みと、皆さまのご尽力に深く敬意を表します。



西銘 多紀子 議員

不登校児童生徒への支援と学びの保障を

答 学びの継続と社会的自立を支える



問 不登校の現状と支援体制を問う。
教育長 令和8年3月末時点の不登校児童生徒は、小学校118名(3.6%)、中学校98名(6.4%)。相談員や関係機関と連携し、一人一人に応じた支援を行っている。

問 保護者への相談支援を問う。
教育長 相談窓口を周知し、支援体制の充実に努める。

問 新教育長の支援方針を問う。
教育長 不登校支援では、学校のみを目標とするのではなく、一人一人の状況や思いに寄り添い、学びの継続と社会的自立を支えることが重要である。相談体制の充実と関係機関との連携を強化し、児童生徒や保護者が孤立しない支援に取り組む。また、ICTの活用や学校外の学びの場を充実させ、多様な学びの機会を確保す

る。今後も、一人一人が安心して学び、自らの可能性を伸ばせるよう、誰一人取り残されない学びの保障と寄り添った支援の充実に取り組む。

猛暑から子どもを守る

問 学校の暑さ対策を問う。
教育長 WBG T(暑さ指数)や気象状況を踏まえ、授業や活動内容を適宜変更している。

問 猛暑時の体育着登校の導入を。
学校教育課長 学校・生徒と議論し、近隣の状況も踏まえ検討する。

公民館サークルの魅力発信へ

問 49団体694名が活動する公民館サークルを支えるため、空調費負担を含めた活動環境の改善を問う。

生涯学習文化課長 空調費負担に関する利用者の意見を把握しており、活動しやすい環境づくりと空調設備の計画的な修繕・更新を検討する。



49団体の活動内容はこちら



がん患者に寄り添う支援へ

問 制度利用者の声をどう生かすか。
国保年金課長 利用者の意見を伺い、今後の事業に生かしていく。

4年間を振り返って

多くの出会いと学びに恵まれ、全力で取り組みました。心より感謝申し上げます。

右折帯早めの工事着手を

答 6月発注、12月完了を見込む



問 県営第2団地から国道329号間の右折帯工事の着工時期の予定はどうなっているか。

副町長 6月中旬に発注、12月完了を見込む。

問 総工費、県の補助率、県からの交付状況を問う。

副町長 工事費5073万円、補助率80%で令和7年度で木の伐採を行い、繰越予算で令和8年度事業実施をする経緯となった。

問 工事の施工方法を問う。
都市整備課長 片側交互通行で朝夕の通勤時間帯は外して工事を実施する。



県営第2団地から国道329号、早めの右折帯設置を

道路通行帯の設置を



知念 富信 議員

問 与那覇地区から高速桁下を通り那覇方面に向けて右折が渋滞で通行に支障がある。対策ができないか。

副町長 南部国道事務所に対し、以前から「おゆづり車線」の設置を要望しており、再度対応する。

英語教育の充実に

問 本町の英語教育強化への取り組みを問う。

教育長 英語教育の充実に図るため、各小中学校に日本人英語指導助手を、各中学校に外国語指導助手を配置し、対話

を重視した学びの推進に努めている。

問 英語教育の充実のために、諸外国との交流に力を入れる考えはないか。

教育長 中学生の国際交流事業を中心に、ホームステイや学校体験を通じた異文化理解の促進に取り組んでいる。

問 豊見城市では、台北市の小中学生と直接やオンライン交流で、年間46回も交流を行い、更に、部活単位でも趣味や学習など英語による交流がある。本町も対話による交流ができないか。

統括指導主事 スピーキング力とは本町の課題になっている。近隣市町の動向を確認しながら調査研究を進めていく。

4年間を振り返って

町民の声を行政へ問題解決に取り組み、福祉、住みよい町づくりに参画できました。

陸軍病院壕公開 20周年イベントを

答 検討していきたい



問 一般公開して来年で20年となるが、周辺設備では改修が必要な箇所が幾つも見られる。利用者が安全に見学できるように、南風原文化センターから20号壕の出口までの動線を修繕してほしい。

教育長 現地の状況を確認し、修繕が必要な箇所は順次修繕を行う。

問 一般公開に当たっては風化も懸念されたが、19年経って壕内部の保全状態に問題はないか。

教育長 定期的な点検及び維持管理を実施しており、大きな風化等は確認されていない。



沖縄陸軍病院南風原壕群20号

問 19年経った今でもほぼ風化せずに公開できているのは、役場職員やガイドの皆様が丁寧な管理の賜物であり敬意を表する。来年は20号壕一般公開20周年の節目に式典や関連イベントを開催してはどうか。



大城 重太 議員

生涯学習文化課長 イベントや企画展なども含めて、関連した取り組みができないか検討していきたい。

南星中学校の施設改修を問う

問 南星中学校の施設改修を問う。耐力度調査はいつ行うのか。

教育長 現在、発注に向けて取り組んでいる。

問 建て替えもしくは、大規模改修になった場合のスケジュールはどうなるか。

教育長 今年度の耐力度調査の結果により、建て替えもしくは

くは大規模改修が決まる。翌年度の実設計業務において工程等を含めた工事内容を検討する。

問 故障したトイレの修繕や洋式化、体育館と校舎の照明LED化など、建て替えや改修を待たずに早急に取り組んでほしい。

教育総務課長 体育館照明は、故障が多く暗い状況が長く続いており、生徒や教員にはご不便をおかけしている。次年度以降に照明LED化計画をして、なるべく早い時期に修繕をしていきたい。トイレは、各学校から和式を洋式に変えてほしいという要望が届いている。こちらは全てまとめて優先度等も判断して順次対応したい。

4年間を振り返って

地域の課題解決を地域の皆様とともに取り組んでいくことに心から感謝いたします。

生涯学習文化課長 他市町村の状況で本町がどこまでできるのか、調査研究していく。

問 本町は、日本スポーツ協会等に加勢していないと補助が受けられない。どんなスポーツでも補助金が受けられるよう仕組みづくりをしてほしいかどうか。

教育長 他市町村の状況で本町がどこまでできるのか、調査研究していく。

問 習い事、スポーツ、文化や芸術などのまなびクーポン（半額補助）等の事業化の検討は。

副町長 まなびクーポンについて先行実施自治体の状況も踏まえ、調査していく。

4年間を振り返って

皆さまの声を町政へ届けるを第一に活動しました。一人一人の声を大切に全力で取り組んでいきます。

本町の物価高騰 対策支援は

答 物価高騰支援策を検討していく



大城 勇太 議員



はえるん商品券

問 食材費やエネルギー価格上昇の影響を受ける保育園や、学童へ今後の支援は。

副町長 現時点で今後支援策の検討はない。

問 物価高による家計負担増への対応として、商品券の配布、水道料金の補助も継続的に検討してほしいかどうか。

副町長 社会の情勢や国の動向で総合的に判断していく。

問 部活動の遠征費の燃料費補助や、貸切りバスの補助の検討はあるか。

教育長 県が補助を物価高騰対策として実施している。マイクロバスの町独自の支援について、部活動の回数の違い、統一した支援は、現時点では厳しい。

問 物価高やナフサの影響で農家の負担がある。JAや農家に話を聞いて、今何が必要なのか聞いてほしい。

産業振興課長 JA、農家の話を聞いて対応を検討していきたい。

本町の子ども対策は

問 県外派遣費の補助の拡充について、本町は航空運賃半額補助である。南城市であれば宿泊費も半分補助。沖縄市は東京だと一律4万3000円の補助がある。県外派遣費の拡充はできないか。



金城 憲治 議員

話せる英語教育に重点を

答 日常的な会話の場を増やしていく



問 本町における、小中学校の英語教育の特色・目的にはどういったものがあるか。

教育長 英語教育の充実を図る為、各小学校に日本人英語指導助手を、各中学校に外国語指導助手を配置し、対話を重視し、小学校では英語や外国文化に親しむ体験活動を通して、外国語への興味・関心を育み、中学校では、A L Tを活用した授業を通じて、実践的なコミュニケーション能力の育成に取り組んでいる。

問 本町の英語教育は何年生から始まっているか。

統括指導主事 小学校は3・4年生が外国語でまずは親しむということから始めて、5・6年生からは教科としてスタートして、中学校につなげている。

問 県外において、さいたま市ではグローバルスタディーと言われ、小学1年生から英語に親しんで、話せる英語を目指した

取り組みをされているが、本町においても、独自の英語教育・カリキュラムを、今後検討してほしいがどうか。

統括指導主事 近隣では、南城市が教育課程特例校として、小学1年生から週1時間の外国語活動を取り入れており、南城市の取り組み等の成果、課題を参考にしながら、今後調査研究していく。

オンデマンド交通モビの実績と課題は何か

問 本町のAーオンデマンド交通モビについて実績及び課題は何か。

副町長 モビ利用実績は、月平均1400人の延べ利用者数となっている。一方で、総事業費に対する運賃収入との乖離が課題となっている。

問 モビのタクシー車両に、車椅子対応の車両導入を検討できないか。



mobiタクシー

まちづくり振興課長 車椅子対応について、運行車両の中には対応可能な車両もある。ただ現行の配車システムでは、利用者が車種を指定することができないため、車椅子対応車両を確実に配車することができない状況にある。車椅子利用者への対応に課題があるものと認識している。

4年間を振り返って

地域の声を行政に反映させる為、今出来る事をしっかり取組できたと思います。

夏休みの子ども食堂へ支援を

答 社協で食材提供を行っている



問 本町にある子ども食堂の設置数はどのくらいか。また地域と名称を問う。

副町長 ①社会福祉協議会のキッチンちむぐる②新川自治会の新川区民食堂③山川自治会の山川食育こども食堂④津嘉山地区のこども食堂n o n aの4件となっている。

ないでやっていけるか。

民生部長 社会福祉協議会で夏休み期間にかかわらず食材提供支援を行っている。町では、夏休みに限らず、養育に課題がある、あるいは家庭内で食事が行き渡っていない家庭を把握して、しっかりフォロー、支援をしている。



子ども食堂の様子



浦崎 みゆき 議員

問 こどもの居場所・こども食堂のマップ、チラシ等は作成されているか。

副町長 マップ、チラシ等はないが、社会福祉協議会のSNSを活用した広報を実施している。

成年後見制度の周知徹底で町民を守れ

問 成年後見制度とは簡単にどういった内容か。

福祉課長 判断能力が低下または不十分な状態になられた方に、権利や財産を守るために、サービス等の手続を、後見人を選任して利用する制度である。

4年間を振り返って

皆様の思いを制度の拡充や町に対する提案を一般質問を通して発言し皆様の代弁者として町政に携わることが出来ました。深く御礼と感謝を申し上げます。

金城町長は町民の声を どう反映するか

答 既に様々な所に出向いている



問 町長は就任挨拶で、町民の声を聞き、対話を大切にしたい町政を推進すると述べた。これをどう具体化するのか。

金城町長 町民の声や地域実情を把握し町政に反映させる事が重要。自治会、各種団体、学校、民生児童委員会、子ども若者、子育て世代、高齢者、JAや生産者、事業者、その他、様々な声をきくために既に積極的に出向いている。

問 この議会に送り出して頂いた私は常に町民目線で質問・意見・提案してきた。後を託せれば、民生児童委員になり、老人会等でも地域や町民の皆さんに恩返ししていきたい。

8年間見てきたが、役場幹部は組織を守る事に汲々とせず、職員がもっと大らかに明るく働ける環境づくりをしてもらいたい。

町長 職員がもっと元氣よく大らかに働ける環境をつくりたい。

問 町長を補佐し、実務を仕切る新垣副町長はどうか。

副町長 町民の声を幅広く聞



岡崎 晋 議員

くのは大基本である。各職員が働きやすい職場環境づくりにも努める。

資源ごみ集団回収の 報償金を引上げよ

問 各家庭が協力し出してくれるものを地域の諸団体が収集分別し、活動資金をつくるこの集団回収は地域の連携を確実に高めるといふ大きな効果がある。この報償金予算と活動団体の推移はどうか。

住民環境課長 予算額は10年前99万円、5年前81万円、本年度は17万円。登録団体数は約80、活動したのは10年前43、

5年前23、昨年は14だった。

問 PTA等の団体が消滅していく中、この活動を活発化させるため10年間据置ききの報償金を引上げてもらいたい。



青年会と少年野球が毎月交代で集団回収

副町長 古紙・アルミ缶1kg当り4円は相場。ごみ減量資源化が目的である報償金は上げない。集団回収活動が地域活性化の大きな有効手段という議員とは見解が違ふ。

4年間を振り返って

町政は行政と議会の双方で担う。私はこの4年間も一貫した町民目線を決して忘れなかった。

中東情勢の影響を受ける事業者へ支援を

答 現状を国へ訴え、支援策を求める



問 中東情勢の影響に伴い、町内事業者より塗装資材や土木建築関連の様々な資材が価格高騰や供給不足、生産の休止、受注停止、納期遅延などの声がある。町内事業者への事業継続支援策の検討は。

副町長 ご指摘の課題については国の課題と認識をしている。そのことから、県と県内自治体と連携し現状を国に強く訴え、実効性のある支援策を求めている。



中東情勢の影響を受ける建設資材

問 昨今の中東情勢の緊迫化に伴い、ホルムズ海峡の実質的封鎖により原油価格は世界的に急騰している。アスファルトの調達環境は、大きく変動をしている。

特に2026年4月に4万5000円、前月比で40%の上昇と過去前例ない急騰となり、さらに5月以降もさらなる価格上昇となることが予想される。という通知が町内事業者へ届いている。

前月比40%の上昇という、非常に驚愕する内容だが、事業者の声としては積算時の物価と工事開始時の物価の価格変動が非常に大きいことから、その価格転嫁が今求められている。見解を。

まちづくり振興課長 近年の建設価格の上昇や、労務価格の上昇に伴い工事費全体が上昇していることは、町としても認識している。現在、積算について、毎月最新の単価を使用している。適切に積算のほうを行っている。

4年間を振り返って

課題解決へ挑み続けた4年間。これからも凡事徹底取り組みます。

問 国交省が、中東情勢によるナフサ由来資材の高騰で供給不安を受け、従来の単品スライド条項だけではなく設計変更による追加費用の反映を認める新たな運用を開始し、地方自治体にも参考通知を出しているとの事である。この国交省の取り組みを本町にも生かせないか。

まちづくり振興課長 国から町にも通達が届いている。事業者から協議等の申し出があれば、制度に則り対応していく。



當眞 嗣春 議員

平和行政と 平和学習を問う

答 今後も平和発信事業を継続して推進する



問 住民を巻き込んだ沖縄戦の実相と教訓を問う。

町長 沖縄戦の惨禍は二度と繰り返してはならないと強く認識している。その悲惨な実相や教訓、恒久平和の尊さを再認識し、次世代へと引き継いでいくことが私たちの役割だと考えている。

問 教育への不当な介入を許さず、学校現場を委縮させないためにどう取り組むのかを問う。

町長 これまで同様学校現場が萎縮することなく、平和学習等を推進し、子どもたちが多様な現状や意見に触れ、自ら考え判断する力を育む教育を継続していく。

問 町長の見解としては、この教育基本法第14条第2項の違反に当たらないという認識でよいのか。

町長 痛ましい事故だと思っておりますけれども、議員のおっしゃるとおりである。

問 高市政権の下で、改憲と戦争国家づくりの危険性が高まっている。「再び戦争の惨禍を繰り返さない」という町長の認識を問う。

基地問題を問う
問 「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」を作成し、これを日米両政府に提出をしている。この建議書に対する町長の見解を問う。

町長 建議書には、復帰当時の先人たちの願いや、現在の県民が抱える基地問題や、経済格差などの課題が記載されているものだと認識している。

問 普天間基地と辺野古新基地建設に対する町長の賛否を問う。

町長 地元の意向や様々な意見があると認識していることから、私が発言する立場ではないと思っている。



慰霊祈和の塔

4年間を振り返って

町民のご支援に支えられ、この4年間議員としての役職を無事に全うすることができました。心より深く感謝申し上げます。

町民体育館建設 について問う

答 規模やスケジュールの再検討が必要



町長 様々な意見を拝聴し検討する。

第6次総合計画策定への課題は

問 これから策定する個別計画で、今年度中に策定しなければならぬ計画はあるか。

町長 今年度中に見直し予定は12件で、必要なものについては予算措置を行っている。

問 教育大綱も改定になるか。策定のスケジュールは、もう決まっているか。

教育長 年明けの総合教育会議で、南風原町教育委員会協議調整等を行い定める。



大宜見 洋文 議員

問 重要なコミュニティ・スクールは町長の公約にも見られず、住民参加のワークショップでもほとんど議論されていないと聞いた。第6次総合計画の根幹に関わると考えるが、どう進めるのか。

教育長 学校運営協議会は、令和7年度から既に設置し、今後もその充実を図る。

学校給食に地産地消を

問 学校給食に地産地消を増やすために協議をスタートさせた。金城町長の現時点での評価は。

教育長 昨年の4月と5月で比べると、今年の町内産の購入実績では、重量ベースが昨年が867キロで、今年が2090キロで1223キロ増、これは141%増。次に、金額ベースで昨年は35万9090円が今年には65万2240円で29万3150円の増、81.6%の増となっている。地産地消に効果が出ている。



十年に一度改定する教育大綱のイメージ

4年間を振り返って

高額な体育館建設他の予算に対し採決可否へ各議員の選択が本場に町民の為になる判断だったか。

カスハラ対策 事業所への支援を

答 相談対応等を行い、周知にも取り組む



問 児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの福祉事業所で、カスタマーハラスメントへの対応が課題である。町が事業所へ相談対応していることがそもそも知られていない。周知に取り組み、支援すべきではないか。



カスタマーハラスメントの例

民生部長 相談対応は行っており周知されているものと認識していたが、より一層周知に努める。

**社会教育行政の
取り組みの進捗は**

問 社会教育主事の継続的な育成、公民館冷房代の見直し、中高生の学習スペースなど、これまで4年間かけて提案してきた取り組みの進捗はどうか。

教育長 社会教育主事講習受講は、担当不在時の体制づくりが課題だ。実務レベルでの具体的な検討や人事部局との協議も併せて進める。



玉城 陽平 議員

冷房代は情報収集にとどまり、具体的な検討に至っていない。これを反省し、今後は取り組んでいく。
学習スペースもできるところから確保に取り組む。

**就学援助を
必要な家庭に届けよ**

問 就学援助の現在の基準では、離婚・失業・廃業・休職・介護離職などで年度途中に家計が急変した家庭が、支援につながらない可能性がある。

年金、国保税、町民税における減免等を準要保護の認定事由に加えることや、申請が



県教育委員会就学援助のお知らせ

来たら対応するというだけでなく、支援が必要なサインを制度案内につなげる仕組みを検討すべきではないか。

町長 認定事由の拡大は、県内や近隣自治体の状況も踏まえ、調査研究していく。
町ですべてを直接把握することは難しい面があるが、保護者変更届の提出時に周知するなど、今後も支援を必要とする方に届くよう、周知方法や新たな取組を検討する。

4年間を振り返って

議会活性化、政策提案、取り組みはまだ道半ば。先人の歩みに更なる一步を重ねたい。

津嘉山「ウガンジュ」 修繕と整備を

答 指定文化財には含まれていないため厳しい



伊佐 園恵 議員

問 2年前に21年振りの津嘉山大綱曳きがあった。綱曳きは毎年行われる。その際拝む、6つのウガンジュの1つ「ビズル」が津嘉山幼稚園に隣接している。

副町長 南風原町文化財保護条例第10条の規定において、町指定有形文化財については補助の対象となっている。当該箇所は指定文化財には含まれていない為、厳しいと考える。

問 津嘉山「ウガンジュ」に教育委員会の標示がある。拝所（ウガンジュ）の修繕と整備を行ってほしいがどうか。

民生学習文化課長 直接的な補助は難しいと考える。ただ地域にとって重要な場所であるということは認識している。今後ともそういった大切な場所については、活用の在り方など、地域の方と対応を重ねていきたい。



拝所「ビズル」
津嘉山児童館向きに、傾いて亀裂が入っている

問 町長のSNSに、各字の文化を支援していくという言葉がある。南風原高校の郷土

緊急避妊薬について

問 町内で、購入できる薬局を教えてください。

副町長 厚生労働省ホームページで公表されており、R8年6月時点3カ所ある。
①メルシー薬局かねぐすく
②イオン薬局南風原店
③あおぞら薬局で購入可能

4年間を振り返って

子ども、女性、介護、それぞれが多様性に満ちあふれていることを再確認した。全町民へ感謝を伝えたい。